

# Learning Assistant

LA 活動報告

## 科目提案学生委員(兼LA)が Fil2017で発表しました

2017年2月24日、東京都市大学・二子玉川キャンパスを会場に「Fil2017」が開催されました。「Fil」は「field of invaluable learning」の略称で、全国の大学で新しい何か挑戦している学生たちの活動の報告を受け、これを応援することを目的とした企画です。関西大学は第一位を獲得した昨年に引き続き、二度目の出場です。出場した学生は『恋する学問』という授業科目を創設した科目提案学

生委員三名(松田昇子:政策創造学部4年、緒方友香:文学部4年、篠原梨沙:商学部4年)と、この科目を昨年度受講し、今年度は上記三名の補佐役にボランティアとして名乗りをあげた二名(河井七星:商学部2年、山岡滉太郎:社会学部3年)です。Fil2017には、関西大学の他に追手門学院大学、日本工業大学、常盤大学の三校より四チームが出場しました。いずれのチームも、日頃の活動を丁寧に

説明し、難局をどのように克服したか、重ねた省察をもとに報告をしました。残念ながら、関西大学のチームは連覇を達成することあわず、2位にあまじましたが、得るものはあったように思います。来年の参加がリクエストされましたので、これより新たな取り組みを学生と共に考えていきたいと思ひます。

(教育推進部 三浦真琴)

## LAが桃山学院大学のFD学習会に招聘されました

2017年2月16日、桃山学院大学で開催された「全学FD学習会」に、本学のLA2名(松田昇子:政策創造学部4年、緒方友香:文学部4年、篠原梨沙:商学部4年)と次期LA2名(河井七星:商学部2年、山岡滉太郎:社会学部3年)が招かれました。今回の学習会のテーマは、関西大学の学生アシスタント制度と学生提案科目『恋する学問』で、当初、第一部はCTLの三浦がLAと科目提案学生委員について概要を説明する講演、第二部はLAがグループワークをファシリテートしながら桃山学院大学の新しい授業科目を考えるワークショップ、という構成になっ

ていました。しかし、第二部のグループワークをスムーズに展開するために、第一部においてグループワークの予行演習をしておこうというLAの提案にしたがい、第一部の途中で話者を三浦からLAへとバトンタッチしました。このたび随行したLAは科目提案学生委員でもあり、次期からLAとして勤務する二名の学生は学生提案科目『恋する学問』の昨年度を受講生であり、今年度、ボランティアとして授業の創造と運営の支援をしています。その経験を活かして、桃山学院大学の参加者の皆さんを楽しいグループワークへと誘い、その結果、実に魅力的な科

目がいくつも提案されました。当日の参加者は、学長・副学長をはじめ、教職員、学生併せて34名でした。学長からは「他の学生とは異なる立場にあるのに偉ぶるところが微塵もなく、参加者の笑顔を上手に引き出していました」とのお褒めの言葉を頂きました。学習会に参加した学生は「エルダー」と呼ばれる学生スタッフですので、今後、本学のLAとの交流が深まることに期待が寄せられています。既に他の大学のLAとの交流が始まっていますが、その和をさらに広げていく必要を感じた学習会でした。

(教育推進部 三浦真琴)

## 第8回交渉学ワークショップ開催

交渉学に興味のある大学生、アクティブ・ラーニングを促進する交渉学に興味のある学生、大学関係者ならびに一般社会人を対象に、交渉学ワークショップを行いました。参加者は追手門学院大学の学生を含めて、27名、大学教員6名でした。

「スタディスキルゼミ(各テーマ)」や「交渉学入門」「クリティカルシンキング」などの授業でラーニングアシスタントとして活躍する学生や受講生がチー

ムを組み、交渉学や大学生のアクティブ・ラーニングによる学びの実化をテーマに、学生が主体となったワークショップを行いました。60分のミニセッションを10テーマ準備し、信頼を構築・維持するためのコミュニケーション力を身につけるワークショップを行いました。今回も毎日新聞社より後援をいただきました。

(教育推進部 山本敏幸)

日時：2016年12月17日(土) 13:00～17:30  
場所：第2学舎1号館B301、B302、B305、B306教室



## 第9回交渉学ワークショップ開催

1月15日、極寒の雪の降る中、本学梅田センターで、交渉学のワークショップをおこないました。今回は交渉学をリードするブレインの育成(基礎編)と題して、一般社会人(14名)、大学生(7名)、高校生(1名)が合わせて22名参加しました。

構成は午前の部と午後の部からなります。午前の部は、これまでに交渉学研修に数回参加され、交渉学のケース作成や交渉学ファシリテーターを目指す交渉学リーダー(社会人、学生)を対象に、交渉

学のためのビジュアル・オーガナイザーを使ったケースデザインの研修とディスカッションを行いました。

午後の部は、交渉学について興味を持つ社会人、学生を対象に、交渉学のケース作成・ファシリテーターを目指す交渉学リーダー(本学のラーニングアシスタント)が作成した日常生活の身近な交渉学コンテンツを使って、二者間及び三者間のwin-win交渉学の基本概念をロールプレイも体験しながら学びました。

(教育推進部 山本敏幸)

日時：2017年1月15日(日) 10:00～17:00  
場所：梅田キャンパス705、704、703、702教室



三者間の交渉ロールプレイの様子



本学に入職以来、6年間、授業支援グループの業務に携わらせていただいております。

本学に勤めてまず驚いたのが、各授業支援ステーションにSA(スチューデントアシスタント)が数十名在籍し、職員と同じように窓口対応をしたり、教室に機器の設置に行ったりと活躍していることでした。そして、勤務場所に常に学生であるSAがいることに、初めは戸惑いを感じました。彼らとどのような距離感でどうい

う風に接していけば良いのかと悩んだ記憶もあります。

しかし、SAは入職して間もない何もわからない私に、窓口業務や機器設置の方法などを丁寧に説明してくれました。職員である私が学生であるSAに助けられ、教えられることが多々あり、6年経った今も日々SAに支えられています。

SAは、自身の通っている大学で働けることにやりがいを感じ、教員がよりよく授業を進められるにはどうすれば良いか、窓口で質問・相談をしに来る学生が少し

でも不安をなくすにはどうすれば良いか、日々悩み、考え、話し合い、サービスの向上に動んでいます。

「職員」と「学生」なので、立場も責任も違いますが、彼らは同じ場所で同じ気持ちで一緒に働いている「仲間」だと思っています。

「考動」するSAが本学で活躍していることを誇らしく感じるとともに、より多くの方々に本学SAの活躍を知っていただけることを願っています。

そして、卒業し社会に羽ばたいていく彼らを「仲間」としてずっと応援しています！頑張れ！(陽)



KANSAI UNIVERSITY

関西大学 教育開発支援センター Kansai University Center for Teaching and Learning

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL: 06-6368-1513 FAX: 06-6368-1514

http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/index.html

発行日/2017年3月31日 編集・発行/関西大学 教育開発支援センター